

機能要件一覧表

※ ○は必須項目、△は加点項目

大分類	中分類	No.	内容	要否
全般	基本機能	1	専門的知識を有しない管理者が一般的なウェブブラウザ上で日常的に必要な管理・編集ができること。これには、内部もしくは外部の動画配信プラットフォーム上にアップロードされた動画コンテンツを各ページ内に埋め込む作業も含まれる。	○
		2	一時的にアクセスが集中しても快適に視聴できること（200名程度を想定）。	○
		3	動画(MP4等)、PDFファイルを配信できること。特に動画ファイルはセキュアな環境での配信であること。具体的にはダウンロード不可やURLの直接入力による閲覧不可等の仕組みが採られていること。	○
		4	PDFファイルについては、ダウンロード不可であること。	△
		5	ライブ等の申込み・問合せ・アンケート等に利用可能なフォームを設置できること。但し、外部サービスの活用も排除しない。	○
		6	ユーザビリティ・アクセシビリティに配慮したデザインとなっていること。	○
		7	「新着情報」を表示するためのスクロールバー付ボックスが設置されていること。	○
		8	新着コンテンツ（募集中のセミナー・講座等）を効果的にPRするための仕組みがあること。例：複数画面のリンク付きスライドショー機能	○
		9	レスポンス対応のこと。	○
		10	トップページとは別に、会員個人のアクセスのみに制限されたマイページを提供すること。マイページでは視聴履歴、決済履歴、保有コンテンツの一覧、会員情報の参照と変更機能等を提供し、併せて、グループ登録された会員にはグループページへのリンクも提供すること。	○
		11	トップページとは別に、グループ登録会員毎にアクセスを管理されたグループページを提供すること。これはグループ登録会員向けの動画、PDFファイル配信に加え、グループの概要表示、お知らせの表示機能を備えること。当該グループ内コンテンツはグループ登録会員以外からの参照不可。	○
		12	セミナー・講座等をキーワード検索するための検索ボックスを設置できること。	○
		13	会員登録用のフォームに誘導する仕組みがあること。	○
全般	講座関係	14	各講座の個別ページに誘導するための仕組みがあること。（非会員も参照可）	○
		15	個人向け講座・セミナーの場合は申込み用フォームに、企業向け講座の場合は問合せ用フォーム（メールアドレスやURLでもよい）に誘導するための仕組みがあること。	○
	その他	16	一斉通知メール（URLの案内等）を送信する機能があること。もしくは、システム外で送信する際の負担を軽減するための仕組みがあること。	△
17		フォームの不正入力を防ぐ仕組み（仮登録等）があること。	○	
18		フォームの誤入力を防ぐ仕組み（エラーチェック等）があること。	○	
データ管理	基本機能	19	管理者がデータベース上のデータを容易に編集（追加・修正・削除等）できること。	○
		20	各フォームの入力内容のエクスポート、データベース内容のインポート／エクスポートをcsv形式でできること。	○
		21	パッケージ上のアカウントが削除された後も、各種の情報（講座名・修了証の発行履歴等）をデータベース上で参照できること。	○
	固有ID	22	全利用者（セミナーの参加者等を含む）に固有ID（通し番号）を付与できること。	○
		23	登録希望者が各自で利用者ID及びパスワードを発行できること。なお、延べ数千名以上の利用者が想定されるため、IDの発行数には上限がないようにすること。	○
		24	登録利用者が自己の登録情報を編集（修正・削除等）できること。	○
		25	管理者が利用者IDの発行に必要な入力事項を自由に追加・設定等できること。	○
		26	登録日時及び最終ログイン日時のデータが記録できること。	○
		27	課金処理が完了した受講生の利用者ID及びパスワードを自動で登録できること。	○
	課金連携	28	同一アドレスに対するIDの重複発行を防ぐための仕組みがあること。	○
		29	利用者ID等と紐付ける形で決済履歴（講座名・金額・決済日時・決済手段等）を記録できること。	○

コンテンツ配信	基本機能	30	有料コンテンツ、無料コンテンツを問わず、外部動画配信プラットフォームと連携できること。なお、動画配信プラットフォームは必ずしもLMS/CMS内部に具備することを必須としない。	○
		31	指定した動画像/コースに対して、理解度確認のためのテスト、自動採点ができること。テストは少なくとも選択式を備え、管理者により配点を設定できること。運用により実現する場合は、手作業が軽微であること。	○
		32	テストの結果に応じて、修了証を自動発行できること。運用により実現する場合は、手作業が軽微であること。	○
		33	修了者へのアンケート機能があること。その設問をcsv形式でインポートできること。運用により実現する場合は、手作業が軽微であること。	○
	有料講座	34	コンテンツの販売価格を、ユーザ属性に応じて表示できること。	○
		35	課金機能等と連携の上、有料コンテンツをLMS/CMS上などで配信できること。	○
		36	受講生の進捗状況（動画の視聴実績）を確認できること。	○
		37	コンテンツ毎、ユーザ毎に受講期限を設定できること。	○
	無料講座	38	無料コンテンツは、“非会員でも視聴可”と“会員のみ視聴可”を区別すること。	○
		39	無料コンテンツについても、申込用のボタンを設置するなどして受講者数等をデータベース上に記録できること。	○
その他	40	パッケージを活用する場合は、アカウント数の増加に伴うランニングコストの上昇を抑える工夫（受講期限後のアカウントの自動削除等）がなされていること。	○	
課金	課金連携	41	外部の決済代行サービス等と連携し、課金処理が可能であること。	○
		42	クレジットカード情報をシステム上で保持しないこと。	○
		43	クレジットカード、コンビニ決済対応のこと。	○
		44	不正防止機能を備えること。	○
	見積書・請求書・領収書	45	決済代行サービスと連携の上、領収書が発行できること。運用により実現する場合は、手作業が軽微であること。なお、令和5年度に施行される適格請求書方式を見据えたシステムとすること。	△
		46	見積書等に年度ごとの通し番号を発行できること。	△
		47	受講者各自が領収書をpdf形式でダウンロードできること。	△
		48	見積書等の宛先・件名を自由に記載できる設定が可能であること。	△
運用保守	運用保守	49	ソフトウェア等については、常に最新のバージョンを維持すること。	○
		50	運用上、セキュリティホールが生じないようにすること。	○
		51	異常または障害が発見された場合は、ただちに委託者に報告するとともに、所定の対策を講じること。また、委託者からの問い合わせがあった際は、すみやかにこれに回答すること。	○
		52	24時間365日の稼働を原則とした稼働監視を行い、可用性を確保するとともに、大小のトラブルが発生した際も運用が停止しないようなシステムとすること。一時的でなく運用を停止せざるを得ない場合は、受託者の費用により代替的なサービスを提供するものとする。	△
		53	保守作業等で運用を停止する場合には、事前に連絡するものとする。	○
		54	定期的なバックアップを実施するとともに、何らかの原因によりデータが消失した際はデータの復旧作業を行うこと。	○
		55	毎月、保守状況等を書面で報告するものとする。また、CMSの操作やホームページの仕様等に関する電話又はメールによる問い合わせには遅滞なく応じるものとする。	○
		56	運用に必要なソフトウェア等（以下「ソフトウェア等」という。）の設定はすべて本業務の内容に含むものとする。なお、構築後もライセンス費用が発生するものについては、その年間費用及び販売元等を明記すること。	○
		57	ソフトウェア等に脆弱性が発見された場合には、ただちに必要な対策を採ること。	○